

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームかわびら
(ユニット名)	ユニット1階
所在地 (県・市町村名)	長崎市川平町1199番地
記入者	貝賀 美紀(介護支援専門員)
記入日	平成20年12月18日

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	「心穏やかな暮らしいつまでも」の理念に基づきサービスの提供を行っています。	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	毎朝のミーティングで唱和し、実践に取り組んでいます。	
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	玄関 食堂に理念掲示し、運営推進会議の折、参加者一同唱和し、豊かな気分で会議を進めています。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	行事、催し等に参加の呼びかけをしたり、散歩等の折、職員やご入居者より挨拶をするように努めています。	○ 通りがかりの方も声をかけて下さり、ご入居者とも馴染みが深くなるようなお付き合いを、今後していきたいと思えます。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	自治会の消防訓練等に参加し、また廃品回収に多量のダンボールを提供して喜ばれました。	○ お付き合い出来る事柄は何か、運営推進会議で取り上げてみたいと思えます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の中で、家庭での手すりの取り付け方や、立ち上がりの仕組みを実技しました。	○	職員2人でペアを組み実技披露したところ、意見も飛び交い、今後も続けていきたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	取り組みに対し、読み取りをしながら、各項目に対し職員の本音の聴き取りに徹した結果、和気あいあいと腹を割って話し合いが出来ました。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ご家族に毎回案内状を出し参加して頂き、欠席されたご家族には議事録を送付し、尋ねられた事柄については全職員が親切 丁寧の説明するよう努めています。参加者一同が楽しみにしています。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて、相談にのって頂いております。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	グループホーム連絡協議会にて勉強会があるので、必ず出席しています。また何度か成年後見制度にめぐり合った事がありますが、学ばせて頂いていたので、対応することが出来ました。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	朝のミーティング時些細な事柄を見落とすことなく、話し合いを重ねています。講習会に職員交替で受講しています。ご家族には文書にて報告しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約内容を文書化し、十分な説明 理解 納得を得られるようにしています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱も備えていますが、ご入居者 ご家族と管理者にて十分な話し合いが出来ており、話し合いの結果報告をまとめ、職員に回覧し、ファイルに綴じています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月かわびら通信(お便り)により、健康状態 職員異動 入居者担当等報告と、ご家族来所の折、入居者担当職員より生活ぶりを説明しています。また小遣い帳のコピーを送付し、ご家族からは何を食べているのかや、小遣いの残高が分かるので安心出来ると言われます。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱に入れるより直接相談したほうが良いと言われ、ご家族と管理者で意見交換をしています。話し合いの結果は管理者がまとめ、職員に回覧並びに個人ファイルに綴じています。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎朝のミーティングにおいてしっかり聞き受け止め、又行事あとの全体会議にて意見交換をしています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>必要な勤務時間帯で調整しています。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>自然の流れに添い、穏やかに過ごしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講習会並びに他施設の交流 視察を重ね、良いところは取り入れています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会において市内グループホームをブロックに分け、管轄のブロックに所属し、勉強会へ出席しています。気軽に意見交換が出来、良いところを取り入れています。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	行事の後、全体会議を開き、意見交換をしています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	全職員が介護の取り組みシートに1年間の取り組み目標を記入し、年度明けに取り組みを振り返り、運営者は職員に聴き取りをします。	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居に至るまでに、ご本人と面談を行い、困っていること、不安なこと、求めていること等を聴かせて頂きます。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から入居に至るまでに、ご家族と面談を行い、困っていること、不安なこと、求めていること等を聴かせて頂きます。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族からの聴き取りや、利用中の事業所、入院中の病院等からの情報収集を行い、必要な支援の見極めに努めています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人がホームの雰囲気徐々に馴染んで、安心して納得した上でサービスを利用できるよう、体験入居の期間を設けています。また、入居の日程はご本人が納得された上で決定し、入居後しばらくは、ご本人の不安も大きい為、ご家族の面会を頻繁にして頂くようお願いしています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ご本人の持っている力を発揮して、食事の用意、後片付け、洗濯物たたみや居室の掃除等、職員と一緒に出来ることをして頂きます。そういう時間の中で、職員は暮らしの知恵や風習等を学ばせて頂いたり、干し柿作りやツワの皮むきの方法等を教えて頂いています。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にご本人の様子を報告し、相談しながら、一緒にご本人を支えていく関係作りに努めています。家族会等で意見をお聞きしたり、行事にも呼びかけて参加して頂きます。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族との面会、外出、外泊やお墓参り、お孫さんの誕生祝の会への参加等、ご本人とご家族がより良い関係を築いていけるよう支援しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友達、近所の方、親戚等いつでも面会に来られ、馴染みの人との関係が継続できるよう支援に努めています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご入居者同士が声をかけ合い、助け合って生活されています。また昔話に花が咲き、一人が歌い出せば皆の手拍子で盛り上げたり、自分のカラオケのテープを持って来て皆さんに聴かせてあげる等、楽しい時間を過ごされています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された後も、その後どうされているか連絡を取り合い、ご本人やご家族が気軽に立ち寄って下さいます。入院中の方をお見舞いさせて頂くこともあります。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃からご本人との会話(必要に応じて筆談やジェスチャーを使う)や、表情 暮らしぶり、また、センター方式を一部使用しての聴き取り等から、一人ひとりの思いや希望の把握に努めています。	○ 体調不良を訴えられる方でも、時間をかけて話をお聴きすると、実は悩み事があって気分が優れなかったということもあるので、これからもご本人に寄り添い、思いの把握に努めていきたいと思えます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時や日々の生活の中で、ご本人やご家族から、生活歴や生活環境、これまでのサービス利用の経過等お聴きして、生活習慣としてされてきたことや得意なことが継続できるよう努めています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご本人、ご家族等からの聴き取りや、生活の中で、一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態等把握して、有する力を発揮できるような支援に努めています。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各担当職員の情報収集に基づき、ご本人の思いや意向を把握するとともに、ご家族の面会時に意見をお聴きしたり、かかりつけ医とも相談しながら、職員間で話し合い、介護計画を作成しています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご本人の状態に応じて、ご本人、ご家族、かかりつけ医等と相談しながら、職員間でその都度話し合い、現状に即したより良い支援のあり方を検討しています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の生活記録に、日々の様子や気づき、ケアの工夫等を記入し、気づいたことは毎朝のミーティング等を出し合い、情報を共有しながら、話し合いケアの見直しを行っています。	○	ケアの気づきや工夫など、ミーティング等で話し合ったことを、連絡ノートを活用し、また申し送り時に確実に伝達して、統一したケアを行い、見直しに活かしていくよう、これまで以上に取り組んでいきたいと思っています。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームでのドライブや外食の機会を出来るだけ作り、またご家族との墓参り、外食等の外出支援を行っています。他のホームや地域の保育園とも交流をすすめています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署の指導で消防訓練、救命救急訓練を行っています。地元の大学の学生や、中国からの留学生もボランティアに求められ、ご入居者との交流が行われています。ボランティア受付票に基づきボランティアに来て下さった方に希望する活動内容等お聞きして、希望に添った活動計画を組むようにしています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人の意向や必要性に応じて、近くの病院へリハビリの為の通院等を支援しています。他のホームとも行事に誘い合う等交流をすすめています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議へ出席して頂いたり、必要に応じて相談をさせて頂いています。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族に相談しながら、必要な医療を受けられるように支援しています。かかりつけ医とも、気軽に相談が出来る関係を築いています。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に詳しい医師に相談しながら、ご入居者が適切な診断や治療を受けられるよう支援しています。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ご入居者のことをよく知る契約の看護職が、定期的に訪問して、日常の健康管理や相談、必要な医療へつなげる支援をしています。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中、病室にノートを用意し、ご家族・職員でご本人の様子を記録し、情報の共有を行うとともに、医師や看護師との情報交換や相談に努め、早期退院に向けて連携しています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、重度化した場合や終末期のあり方について、ご本人、ご家族等の意向をお聴きし、かかりつけ医の指導を受けながら、全員で方針を共有するよう努めています。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医と密に連携を取り、ご家族にも協力を得ながら、重度や終末期のご入居者が日々をより良く暮らせるために、チームとしての支援に取り組んでいます。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替え時は、ご家族及び、ご本人に関わるケア関係者間で、サマリー、ケアプラン、情報提供票等を基に、情報交換や十分な話し合いを行い、ご本人のダメージを防ぐことに努めています。	○	住む所が変わることで不安になり、落ち着かなくなることが多いので、ご家族にも協力して頂き、ご本人の気持ちを聴きながら、混乱することが無いように努めていきたいと思えます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを確保し、一人ひとりを尊重する言葉かけや対応に努め、また職員間の申し送りでは、ご入居者の名前を出さず、名札を使用し、個人記録に他のご入居者の名前を書く時は、アルファベットで記入する等、個人情報の取り扱いには注意を払っています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	難聴の方には、筆談やジェスチャーを使う等、その方に合わせた説明や働きかけを行い、ご入居者が自分の思いを表現しながら、納得して暮らせるように支援をしています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、一人ひとりのペースを大切にし、散歩やレクリエーション等、その日をどのように過ごしたいか、希望を聞きながら支援しています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	美容師さんに来て頂き、好みの髪型にして頂いたり、ご本人の希望によっては、お店へ行けるよう支援しています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力に合わせて出来ることをして頂き、利用者と職員と一緒に知恵を出し合いながら、野菜を切ったり、皮を剥く等の下ごしらえや、配膳 食事 下膳等、楽しい雰囲気の中で出来るよう支援しています。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の好みの飲み物やおやつ等、一人ひとりの状況に合わせて、必要に応じて管理しながら、日常的に楽しめるように支援しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの力や排泄パターンを把握して、必要に応じて声かけや誘導、介助を行い、なるべくおむつではなくトイレやポータブルトイレで、気持ちよく排泄出来るよう支援しています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その日の体調や希望、タイミングに合わせて、声かけや介助を行い、気持ちよくゆっくり入浴して頂けるよう支援しています。また、菖蒲湯やゆず湯等、季節に応じた入浴が楽しめるよう工夫しています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣や、その時々状況に応じて、休息して頂いたり、居室の温度・湿度の調整や寝具の調整等、安心して気持ちよく眠れるように支援しています。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	干し柿作り、ツワの皮むき、食事の下ごしらえや洗濯物たたみ等、長年培ってきた力を活かせるような役割や楽しみごとの支援をしています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの力に応じて、必要な管理をしながら、買い物等希望に合わせて、自由に使えるように支援しています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望に沿って、散歩や買い物等、なるべく戸外へ出掛けられるよう支援しています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望をお聴きしながら、季節に合わせて桜 つつじ 秋桜等の花見や、ぶどう狩り みかん狩り等、皆で外出する機会を作り、併せて外食も楽しめるよう支援しています。	○	ご入居者をご家族と外出を楽しむ機会をより多く提供できるように、ご家族の参加を今まで以上に呼びかけて、ご協力をお願いしていきたいと思っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも自由に電話を使えるようにしており、その方の力に応じて必要な支援をしています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族 ご友人等、いつでも気軽に訪問して頂き、居室や居間等でゆっくり過ごして頂けるよう努めています。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全ての職員が、ご入居者一人ひとりの心身状態を把握して、必要な見守り 声かけ 介助や、環境の整備を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。また身体拘束について職場内外での研修にて勉強しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りの出来る範囲で、ご入居者が自由に出入り出来るように、居室や、日中玄関には鍵はかけていません。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夏場に居室のドアを開けている時は、のれんで目隠しをする等、プライバシーに配慮しながら、常にご入居者の所在や様子を把握し、安全に配慮しています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に合わせて、自己管理が難しい方は、ハサミ 爪切り 針等事務所で保管 管理し、見守りをしながら使用して頂いています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	話し合いや研修 訓練の実施、ヒヤリハット報告書の活用により、一人ひとりの状態に応じて、必要な対策を検討し、事故防止に取り組んでいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ご入居者の急変や事故発生時は、ホーム長 主治医に連絡し、指示を仰ぎ対応しています。応急手当や初期対応の方法について、毎年消防署の指導の下訓練を行っています。	○ ご入居者の急変や事故発生時の応急手当 初期対応の方法について、知識や技術の習得に向け、定期的な研修や訓練等、更に取り組んでいきたいと思ひます。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○ 年2回消防署の指導を受けて、消火 通報 避難誘導の訓練、救命救急訓練を行い、ご入居者が安全に避難できる方法を身につけています。	○ 災害時に地域の人々の協力を得られるよう、日頃より交流を深め、働きかけをしていきたいと思ひます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	日頃から、一人ひとりの心身状態や起こり得るリスクについて、ご家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に、必要な見守り 声かけ 介助や環境整備等を話し合い行っています。	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎朝のバイタル測定や、顔色 体調 様子等から異変の早期発見に努め、気付いた際は申し送りや連絡帳等も活用して、速やかに情報を共有し、対応に結び付けています。	
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人ひとりが使用している薬の目的と副作用を知り、誤薬のないようその方の力に合わせて、服薬の確認 見守り 介助等行っています。症状の変化があれば、かかりつけ医に連絡し調整して頂きます。	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日排便チェックを行い、一人ひとりの状態を把握し、毎朝の牛乳の提供や、水分を勧め、毎食前のラジオ体操、歌 散歩 リハビリ体操等、身体を動かすような支援に取り組んでいます。	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後歯磨き うがいを習慣にし、一人ひとりの口腔状態や力に応じて、必要な声かけ 見守り 介助や義歯の手入れ等を行っています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
78	<p>○感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>		
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>			
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居時に、タンスや鏡台、仏壇など馴染みの家具を持って来て頂き、ご本人やご家族と相談しながら使いやすいように配置して、居心地良く過ごせるように努めています。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝、掃除する時に窓を開けて換気に努め、温度・湿度計を見ながらこまめに調節をしています。冬場は居室内の乾燥を防ぐ為に、水を張ったバケツを設置しています。		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下 居室 食堂 トイレ等に手すりを設置し、歩く所はつまずかないよう段差をなくし、足元に余計な物を置かず、安全かつ自立に向けた支援をしています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	それぞれの居室の入口に好きな絵と名前を表示し、トイレもわかりやすく『便所』と表示する等の工夫をしています。また、ご本人が落ち着かない様子を見かけたら、何に困っているのか、どこへ行きたいのか等を把握して、さりげなく支援するように努めています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関先にベンチを設置し、いつでも日光浴等の気分転換が出来るよう活かしています。		

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
		<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/> ③たまにある
		<input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/> ④ほとんどできていない



項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

職員は、「心穏やかな暮らしたいつまでも」の理念に基づき、優しい声かけで、明るく穏やかに接するよう心掛け、ご入居者が安心して笑顔で暮らして頂けるよう、寄り添う介護に努めています。

- ・日々の散歩や食前のラジオ体操・口腔体操、そして毎日の歌やリハビリ体操・バルーンを使った体操など、声を出したり身体を動かして、心身ともに健康で過ごせるよう取り組んでいます。
- ・毎月季節の花見や行事を取り入れて、ご家族にも参加して頂いたり、近隣の保育園の園児さん達との交流も行っています。
- ・職員同士の連携を大事にして、体調変化等の気付きを職員間で共有し、早く医療につなげるよう、早期発見と迅速な対応に努めています。